

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	指令情報課担当課長	秋元弘和・山本富政
消防-09 指令活動事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 指令情報課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等を各種災害から保護するため。
効果	災害に強い、安心して暮らせるまちづくりを図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

市民等から各種災害通報を受信し、災害規模や種別に応じた消防・救急隊を選定し出動指令を行う。 消防・救急活動を円滑に遂行するための支援業務及び関係機関との連携のための情報伝達業務を行う。 消防救急無線のデジタル化について、共通波の整備を県及び県内市町と共同で行うとともに活動波の整備を行う。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	53,870	決算値(千円)	1,232,814	
	国県支出金		国県支出金	3,440	
	地方債		地方債	1,157,400	
	その他		その他		
	一般財源	53,870	一般財源	71,974	
事業経費運営	人員配置数	12.0	人員配置数	14.0	
	人件費(千円)	100,966	人件費(千円)	110,407	
	総事業費(千円)	154,836	総事業費(千円)	1,343,221	
市民1人当りの経費(円)	874	市民1人当りの経費(円)	7,569		
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線(活動波)の整備に係る工事实施に着手する。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	関係各課、施工業者との調整を密に図り、事業を円滑かつ安全確実に遂行できるように努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	整備完了後は、相互の機能を十分に活用できるよう、課員一人ひとりが知識・技能のレベルアップを図っていく。	
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 高機能消防指令センター整備は、消防救急デジタル無線の機能を十分に活用するための重要な事業であり、複雑多様化する災害に対し迅速的確な指令業務を実施し、市民等へ更なる安全安心の提供を図る。
総評	新たなシステム整備に伴い更なる迅速的確な指令業務を目指し、課員のレベルアップを図るとともにシステムを安定稼働するための継続的な維持管理に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	円滑な指揮命令による災害活動等の達成率						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター構築による、出動指令体制の迅速化、システムの維持管理等を実施する。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	90.0									
	達成率	90.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	導入したシステムを十分に活用しその成果を発揮するために操作技術の更なるレベルアップを図り、一貫した指令業務を行うために課員に対し業務の共通認識、個々の目標・課題を持たせ、指令業務の万全を図る。										

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---